

# 第九章 諸規則

(イ) 長野縣立原種製造所規則

長野縣告示第八十二號

百九十

- 一、原蠶種ノ製造及配付  
二、蠶種類ノ比較試験  
三、蠶種類ノ委託試験又ハ調査  
四、桑樹ニ關スル試験  
五、蠶桑業ニ關スル講習講話  
六、其他蠶絲業ニ必要ナル事項

第二條 原蠶種製造所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長	二	人
技師	二	人
技手	七	人
書記	四	人

第三條 所長ハ知事ノ指揮監督ヲ受ケ所中全般ノ事務ヲ掌理ス

第四條 技師、技手ハ所長ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ分掌ス

第五條 書記ハ所長ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第六條 本則ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

第七條 第二原蠶種製造所ハ明治四十五年四月一日ヨリ第一原蠶種製造所ハ明治四十六年四月一日ヨリ事業ヲ開始ス

(ロ) 原蠶種製造所處務規程

(明治四十五年五月十日)  
長野縣訓令第三十六號

第一條 所長ハ特別ノ規程アルモノノ外左ノ事項ニ對シ專決スル事ヲ得 但シ特ニ重要ノ關係アルモノ又ハ事ノ異例ニ屬スルモノハ此ノ限りニ在ラス

一、職員ノ管内出張ノ件

二、職員除服ノ件

三、豫算ノ定額内ニ於テ小使傭夫及臨時雇傭罷ノ件

四、收穀物買却ノ件

五、文書ヲ他人ニ展覽セシメ又ハ謄本ヲ與フルノ件

第二條 所長ハ左ノ事項ヲ知事ニ具申スルコトヲ得

一、職員ノ進退賞罰ノ件

二、職員ノ製造所所在地外居住許否ノ件

三、職員ノ墓參(父母ノ忌中若クハ年回歸省看護)若クハ轉地療養願許否ノ件

第三條 所長ハ毎年施行すべき試験ノ項目及方法ヲ四月末日迄ニ其試験成績及事務工程ヲ翌年五月十五日迄ニ知事ニ報告スベシ

臨時ニ施行すべき試験ニアリテハ其都度前項ノ手續ヲナスベシ

第四條 所長事故アリシ時ハ上席職員其職務ヲ代理ス

第五條 職員出勤ノ時ハ自ラ出勤簿ニ捺印スベシ

若シ疾病其他事故ノ爲メ缺勤又ハ遅参スル時ハ出勤时限迄ニ其ノ旨所長ニ届出ツベシ

第六條 疾病ノ爲メ缺勤七日以上ニ涉ル時ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ知事ニ届出テ爾後七日毎ニ其ノ病狀ヲ届出ツベシ

第七條 職員忌服ヲ受ケタル時ハ其ノ旨所長ニ届出ツベシ

第八條 職員出張ノ時ハ出發歸所共届出テ歸所後三日以内ニ所長ニ復命スベシ

第九條 所長管内出張巡回ヲ要スル時ハ用務及豫定日數場所ヲ記載シテ知事ニ報告スベシ部下ノ職員ニ管内出張ヲ命シタルトキ亦同シ

第十條 所長及其他職員管外出張ヲ要スルトキハ知事ノ承認ヲ受クベシ

第十一條 所長ハ知事ノ認可ヲ受ケ處務細則又ハ講習又ハ試験ニ關スル規程並ニ其他必要ナル諸規程ヲ設クル事ヲ得

第十二條 職員ハ交番ニ當宿直シ所内ノ取締ヲ爲スベシ

(ハ) 蠶種配付規程

(明治四十五年七月五日)  
長野縣告示第二百十八號

第一條 長野縣立原蠶種製造所ニ於チ製造スル本規程ニ依リ之ヲ配付ス

第二條 前條ノ蠶種ハ原蠶種トシテ蠶種同業組合ニ無償配付ス但シ學術研究ノ資トシ學校、講習所、試驗場又ハ其他ノ團体ニ對シ無償配付ヲナスコトアルベシ

第三條 配付スベキ蟲種ノ種類及名稱並其ノ豫定數ハ毎年三月之ヲ公示ス

第四條 蟻種ノ配付ヲ受ケントスルモノハ毎年三月末日マテニ様式一號ニ

アリテハ第一原蠶種製造所長ニ二化性ニアリテハ第二原蠶種製造所長ニ願出ツベシ

第五條 蟻種ノ配付ハ當該蟻種同業組合ガ依テ其組合員ノ掃立原種ヲ製造シ得ベキ範圍

内ニ於ケル前條ノ出願數ニ比例シテ之ヲ定ム但シ前年度ニ於テ配付ヲ受ケタル蠶種ヲ目的以外ニ供用シタル場合ハ出願數ヲ制限シ若クハ其ノ出願ヲ許可セサルコトアルベシ

附則

二化性蠶種ハ明治四十五年度ヨリ一化性蠶種ハ明治四十六年度ヨリ之ヲ配付ス

一、種類  
可配付願

二

右河々(目的)致シ度候間御配付相成度此段相願候也

長野縣立第二鳳城種畜造用農場

化性及期	名稱	月日	掃立	蛾數	掃立	蟻量	掃立	日數	飼育	收繭	繭	額
上繭	同功繭	其他	計	上繭	同功繭	其他	原種	其他	製種	製造	額	蟻量 ニ對スルノ量
				上繭	同功繭	其他	原種	其他	製種	製造	額	蟻量 ニ對スルノ量
				上繭	同功繭	其他	原種	其他	製種	製造	額	蟻量 ニ對スルノ量
				上繭	同功繭	其他	原種	其他	製種	製造	額	蟻量 ニ對スルノ量

THE JOURNAL OF CLIMATE

古文真賞

年月日

長野縣立第一原蠶種製造所長宛

諸規則

142  
302

大正四年三月三十日印刷

大正四年四月五日發行

# 長野縣立第二原蠶種製造所

長野縣長野市西長野町二百三十八番地内二番

印刷者

堀

賢

吉

長野縣長野市旭町二十七番地

印刷所

信濃每日新聞株式會社

終